

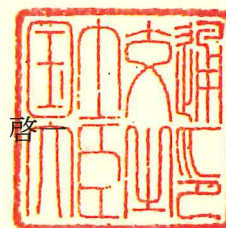


認定書

国住指第 2477 号
平成 28 年 12 月 2 日

未来工業株式会社
代表取締役社長 山田 雅裕 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060FL-0885
2. 認定をした構造方法等の名称
硬質ポリ塩化ビニル管／表面材付膨張黒鉛混入ゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

硬質ポリ塩化ビニル管／表面材付膨張黒鉛混入ゴムシート・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ158mm以下)
	面積	0.0197m ² 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の割合)		78.6%以下
貫通する床の構造等		ALCパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ100mm以上

3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項目		仕様		
耐火テープ	材料	表面材付膨張黒鉛混入ゴムシート		
	寸法	幅：80mm以上(一枚又は複数分割)、長さ：管の周長以上、厚さ：3.0(-0.3)mm以上 ※表面材1及び2の幅は、基材の上下端部より5mm以下まで伸ばしてもよい		
	用途	貫通部の配管に巻き付け(基材は埋設長さ70mm以上)		
	表面材1 (充てん材側) (あり又はなし)	材料	種類：①～⑫の一 ①ポリオレフィン系樹脂 ②ポリウレタン系樹脂 ③ポリスチレン系樹脂 ④フェノール系樹脂 ⑤塩化ビニル系樹脂 ⑥アクリル系樹脂 ⑦ナイロン系樹脂 ⑧フッ素系樹脂 ⑨シリコーン系樹脂 ⑩合成ゴム系 ⑪紙 ⑫布	
		厚さ	0.02(+0.02)mm以下	
	基材	材料	膨張黒鉛混入ゴムシート	
		形状	パテ状	
		密度	1.25(±0.3)g/cm ³	
		組成 (質量%)		
	厚さ	3.0(-0.3)mm以上		
表面材2 (配管側) (あり又はなし)	材料	種類：①～⑫の一 表面材1と同じ		
	厚さ	0.02(+0.02)mm以下		
充てん材	材料	セメントモルタル		
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント	25	
	砂	75		
用途	床と配管・耐火テープとの隙間に密に充てん (床厚方向100mm以上密に充てん)			

表3 配管の仕様

項目	仕様				
配管	硬質ポリ塩化ビニル管				
	JIS K 6741, JIS K 6742, JIS K 6776 (記号VU, VP, H1VP, HT) SU管(通気管)	外径	φ140mm以下	厚さ	7.5mm以下

4. 副構成材料の仕様：
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目	仕様	
施工用テープ (あり又はなし)	材料	種類：①～④の一(粘着材付) ①樹脂系テープ (ポリエチレン系、ポリオレフィン系、ポリウレタン系、ポリスチレン系、フェノール系、塩化ビニル系、アクリル系、ナイロン系、フッ素系、シリコーン系、合成ゴム系) ②紙系テープ ③布系テープ ④不燃テープ (アルミニウム箔、ガラスクロス、アルミニウム箔貼ガラスクロス)
	寸法	材料①～③の場合 厚さ0.13(+0.13)mm以下
	用途	①及び② ①耐火テープ同士の留付用 ②耐火テープと配管との留付用
仕上げ材 (あり又はなし)	材料	種類：①～⑮の一(片面粘着材付) ①ポリエチレン系フォーム ②ポリオレフィン系フォーム ③ポリウレタン系フォーム ④ポリスチレン系フォーム ⑤フェノール系フォーム ⑥塩化ビニル系フォーム ⑦アクリル系フォーム ⑧ナイロン系フォーム ⑨フッ素系フォーム ⑩シリコーン系フォーム ⑪合成ゴム系フォーム ⑫グラスウール(JIS A 9504) ⑬ロックウール(JIS A 9504) ⑭アルミニウム箔 ⑮アルミニウム箔貼ガラスクロス
	寸法	材料①～⑪の場合 大きさ：30×30mm以下、長さ：配管の外周
	用途	床下充てん材箇所に取り付け
バックアップ材 (あり又はなし)	材料	種類：①～⑬の一(片面粘着材付(あり又はなし)) ①ポリエチレン系フォーム ②ポリオレフィン系フォーム ③ポリウレタン系フォーム ④ポリスチレン系フォーム ⑤フェノール系フォーム ⑥塩化ビニル系フォーム ⑦アクリル系フォーム ⑧ナイロン系フォーム ⑨フッ素系フォーム ⑩シリコーン系フォーム ⑪合成ゴム系フォーム ⑫グラスウール(JIS A 9504) ⑬ロックウール(JIS A 9504)
	寸法	材料①～⑪の場合 大きさ：30×30mm以下、長さ：配管の外周
	用途	充てん材の受け材

5. 構造説明図：
構造説明図を図1及び図2に示す。

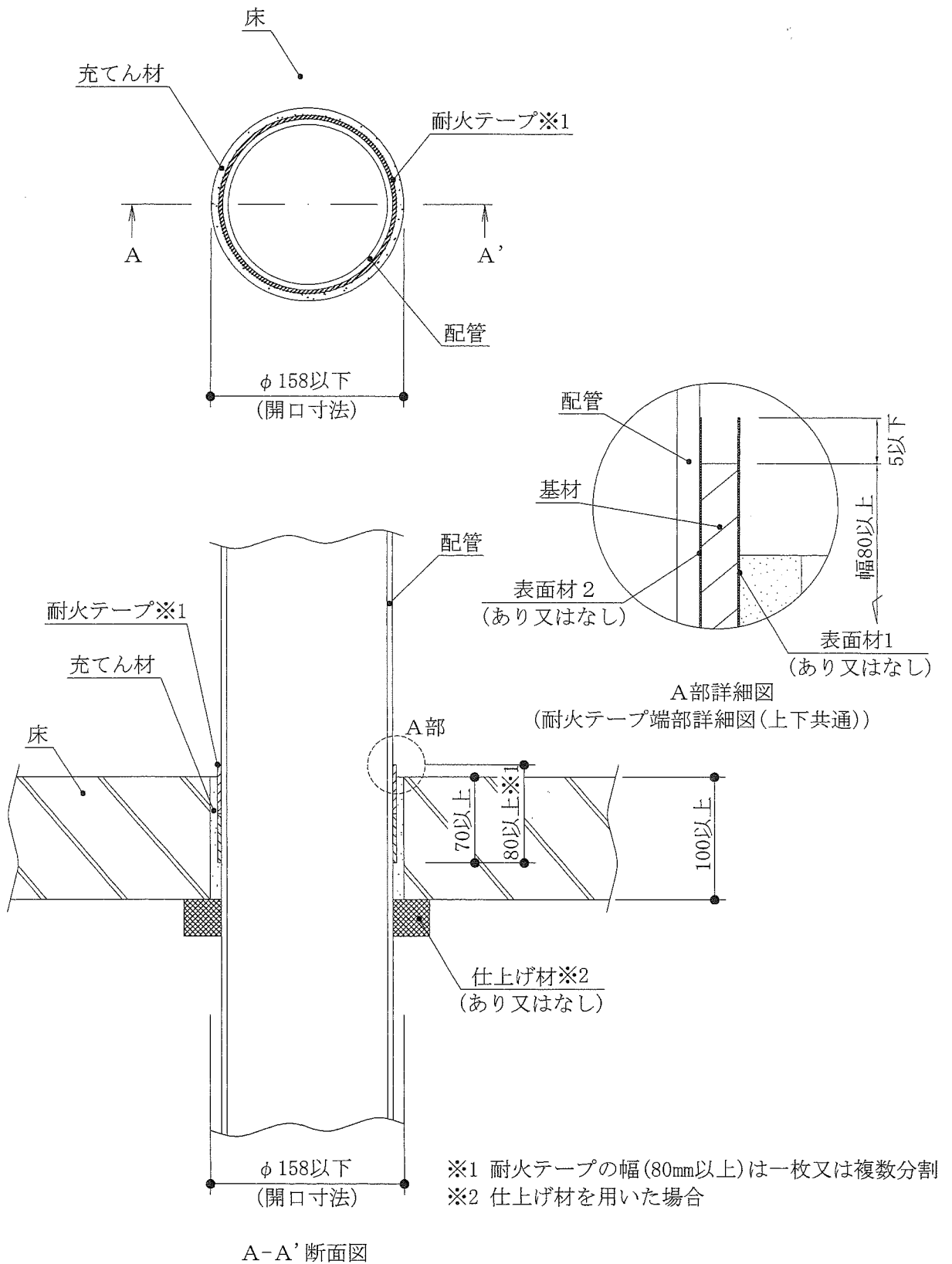


図1 構造説明図(施工図)

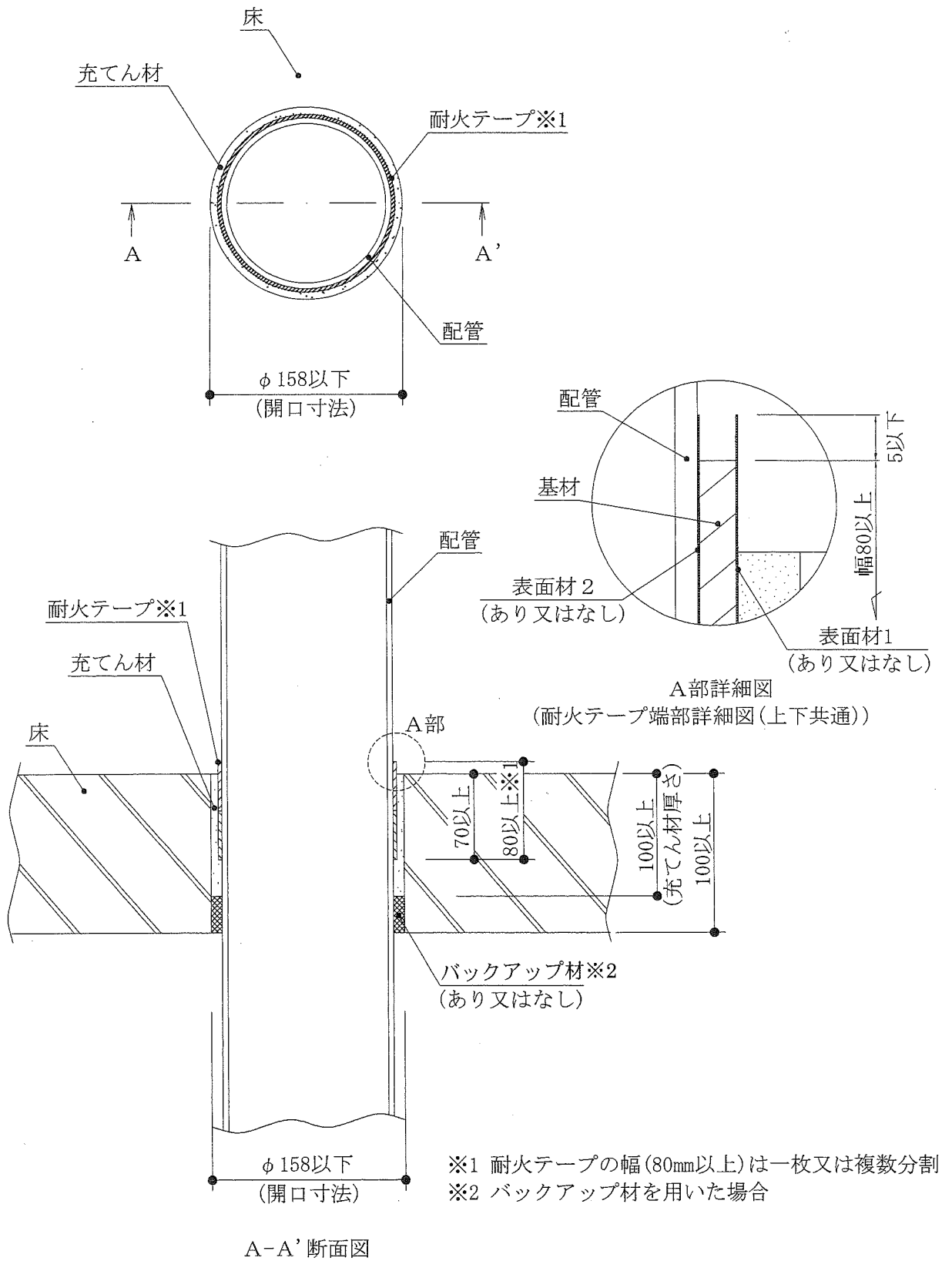


図2 構造説明図(施工図)

6. 施工方法：

施工は、以下の手順で行う。

(1) 床の開口

ALCパネル又は鉄筋コンクリート造等の床にボイド又はコアドリル等を使用して開口を設ける。

(2) 配管の通管

開口に配管を施工する。

(3) 耐火テープの巻き付け

耐火テープを幅長さ80mm以上、埋設長さ70mm以上になるよう隙間がないように配管に

巻き付ける。この時、耐火テープは突き合わせ又はオーバーラップさせて施工してもよい。

(耐火テープの幅長さは、耐火テープを一枚又は複数分割して使用してもよい。複数分割して使用する場合は、耐火テープ同士隙間がないように取付ける。)

なお、施工に際しては、耐火テープの表面材が配管側に貼り付けてある場合、配管に沿わせて耐火テープを所定の位置にスライドさせてもよい。

(4) 施工用テープの使用(あり又はなし)

必要に応じて耐火テープ同士の留付、耐火テープと配管の留付に施工用テープを施工する。

(5) バックアップ材の取付け(あり又はなし)

必要に応じて、充てん材受け用にバックアップ材を取付ける。

(6) 充てん材の埋め戻し

充てん材(セメントモルタル)を開口部の隙間に埋め戻す。

(7) 仕上げ材の取付け(あり又はなし)

必要に応じて、床下充てん材箇所仕上げ材を取付ける。